

まごころだより 高松

2023年春号
令和5年4月1日発行

発行所 NPO法人 長寿社会支援協会(まごころケアサービス 高松センター)

〒761-8052 高松市松並町802番地1 TEL 087-865-8001 FAX 087-865-8039 E-mail magokoro@hyper.ocn.ne.jp URL http://cho-jyu.info/

印刷所 株式会社成光社 〒760-0065 香川県高松市朝日町5-14-2 TEL/087-823-0222



ご利用者作成の花器



米寿のご利用者手作りの人形



通りすがりに見つけた梅

デジタル コミュニケーション

NPO法人長寿社会支援協会

理事 兼間 達郎

4人の子供達の年齢差が3年、3年、6年でして、今年は4人全員の卒業・入学が重なるという大変な春になりました。今日まで大病せず健やかに成長してくれたことに感謝しつつ、4回の卒業式を終え、これから4回の入学式が始まります。それぞれの新しい学校生活の中で友情が生まれることを思うと、我が事のように嬉しく思います。些細なことで心がすれ違うこともあるかもしれませんが、多くの経験を通じて豊かな人間性が育まれることを願います。

さて、コミュニケーションの方法はコロナ禍も相まって大きく様変わりしました。子供達を見ていると、直に会って話したり電話するよりもSNSを使ったり取りやすくなることの方が多いように感じます。確かにSNSは1対1だけでなく、グループコミュニケーションや一方通行の発信も容易に出来るので便利だと思えますし、言葉だけでなく文字や絵、画像や動画も使えるので、様々な情報のやりとりがし易く多くの人に支持されているのでしょう。

デジタルコミュニケーション能力がこれからはますます求められる社会になると思います。年齢が高くなるにつれ、新しい技術や機械は敬遠してしまう傾向があるなどと揶揄されますが、若い人たちに教えるを請いながらIT社会から取り残されないようにしたいと思っています。

● 目次 ●

● デジタル コミュニケーション	1
● 各部会だより	2
居宅介護支援	2
訪問介護	2
まごころサービス	2
有料老人ホーム あかりの里	3

有料老人ホーム 長寿閣	3
研修部	3
● 脳トレ	3
● 会員だより	4
● 会員の唄	4
● 編集後記	4

■各部会だより

居宅介護支援

A氏(男性)は奥様をなくした喪失感から立ち直れず、おひとり暮らしを続けていた。訪問者の受け入れを拒み続けていて、下肢に痛みがあり部屋の片付けなどが十分にできない状態が続いていた。

また、体が思うように動けないことから、浴槽に浸かれず、精神的にもダメージを受けていて、病院には行くが薬は怖くて飲めないし、うつ状態で自殺願望が見られた。

そんなA氏を、ある通所介護担当者(以下A氏)が優しく寄り添う誘いによって、デイサービスを利用し始めた。デイサービスでのレクレーションで「塗り絵」に興味を持ち熱中しはじめ、最初は簡単なテーマで練習していたが次第に意欲的になり、ある利用者と馴染みが深まり彼を「先生」と呼び、指導を受け没頭するようになった。

技術的にも上達し色鉛筆も72色を使って複雑なテーマに挑戦するようになり、高度な塗り絵ができるようになった。

利用開始から1年が過ぎた誕生日に、デイサービス施設からサプライズのお誕生日記念として「自分史」のアルバムが贈られた。幼い頃やデ



イでの様子、自分の作品等の写真や年表、またスタッフや関係者からのお祝いメッセージなどが記されたアルバムを手にして笑顔が見られるようになった。

奥様をなくした喪失感がそう簡単に癒えるとは思えないが、周囲に支える仲間もでき、今しばらくは見守りを続けたいと思っている。これからはAさんらしくお元気に過ごしていただければと祈っている。

訪問介護

年明けに一人のご利用者が亡くなられた。おひとり暮らしで「まごころ」のご利用者として15年余、家事のお世話をさせていただいたが途中から車いす生活となった。この間、数えきれないエピソードをお持ちの方である。

訪問ヘルパーに、お鍋で山盛りの「肉じゃが」を依頼し、翌日のヘルパーが訪問した時には跡形もなかった。一人でパソコンのタブレットの操作を勉強し、様々な情報や写真を収集していた。また、毎月定期的に総合病院の4診療科を受診していたが、各診療科で医師達にご自身の家族構成やその活躍ぶりをお話するほか突然に検査をお願いするなど、病院を出るのは夕方というのは日常であった。

なにより、染色界での長年の貢献が認められ、県知事表彰を受けるなど染物一筋で活躍されてこられた方だが、作品展の開催などは全てご自分で手配された。

昨年に最愛の娘さんを亡くされたが、コロナ禍のためお別れにも行けなかった。その頃からご自身の病気が重症化し、入院されたがリスクのある手術を受けるか、受けないか、またその時期を何時にするかを迷われていた。

悩んだ結果、体調を整え春頃に手術をする決めた。正月にご家族一同が1日だけ集まり久しぶりにご自宅で過ごされたが数日後、緊急入院し帰らぬ人となり、お別れは正月にお集まりの方たちによる家族葬で行われた。何事にも前向きで、明るく生きてこられた89年。心よりご冥福をお祈り申し上げます。



まごころサービス

三年間悩まされたコロナもようやく落ち着き、マスク着用も本人の意思に任されるようになりましたが、まだまだ、外して行動するのは難しいようです。

さて、昨年の夏号でお花の先生をされている利用者様をご紹介しましたが、先日その後の様子をご伺いに寄せてもらいました。利用者様がおっしゃるには、年末に火傷や肋骨

の骨折等色々ありました。今では完全に回復し、以前のように生徒さんに生け花の指導をされているそうです。

97歳になられても、お元気で過ごされていました。花器も自分で制作されているとのこと、その中の一部を写真に撮らせていただきました。



有料老人ホーム あかりの里

さぬき市寒川町にある住宅型有料老人ホーム「あかりの里」は桜や菖蒲で知られる亀鶴公園に近い緑豊かな里山にあります。3月から新しいご利用者が入居されました。

男性、長身でイケメン、明るい性格で礼儀正しくおとなしい方です。歯切れのよい話術で他の利用者様や職員らを和やかなムードにしてくれます。これから新緑の心地よい時候を迎え、皆さまお元気で快適な日々を過ごしましょう。(スタッフS)

この度、お世話になります宮本清志と申します。皆様と一緒に生活させていただき感謝です。また、皆様にお世話いただけることに心より感謝しています。末長く宜しくお願い申し上げます。



有料老人ホーム 長寿閣

さぬき市長尾の長寿閣はかつて庄屋敷として建てられ、現在の家は今から約100年前のもので、広い日本庭園をそなえた古民家です。一

部を有料老人ホームとして活用していますが、残された多くの部分は使われないままになっています。訪れる専門家から歴史的にも価値がある建物なので有効に活用すれば喜ばれますよとの助言を頂いています。

3月はじめ、NPO法人空き家活用研究会を運営されている、前田等建築設計事務所さま、佐々木測量登記事務所さまのご紹介で、県下各地から民泊、おうちカフェ、料理教室など様々な分野で活躍され、古民家に興味をお持ちの方たち20数名が見学に來られました。

有料老人ホームとしてのみならず、民泊、お茶会、古民家カフェ、写真撮影、会議場などとして活用できると思っています。多くの皆様方からご意見やご要望をお聞かせ頂ければ幸いです。



研修部

介護福祉士実務者研修

介護福祉士国家試験に必要な介護

福祉士実務者研修(通信課程)を実施しています。研修の大半は自宅学習ですが、途中7日間のスクーリングがあります。ほとんどの受講生は仕事をしながらの受講です。

現在11月入校生4名が受講中でこの4月に卒業の予定です。また、4月入校生の募集を行っています。介護職としてのスキルアップのため挑戦してはいかがでしょうか。

受講にあたっては県の支援制度があります。詳しくは下記までご連絡ください。(ラポールカレッジ)



☎ 087-815-0760

脳トレ

下の四角い枠の中の42文字に日本の伝統的な遊びが10個含まれています。探してみましょう。ヒントを一字ずつ入れてあります。

か○○ ○○○ た○○ ○○○ へ○○ ○○○
○○○ き○○ ○○○ ま○○ ○○○
○○○ う○○ ○○○ ぬ○○ ○○○

ん	あ	ま	ま	は	つ	お
び	こ	た	ろ	ん	う	き
一	た	る	ご	し	き	ふ
だ	け	か	こ	ね	じ	み
げ	た	こ	す	だ	は	か
ま	う	ま	わ	せ	ま	け

会員だより

ポシェット風バッグ

メガネ、お財布、携帯をひとまとめにして肩からかける小型のバッグ
足を踏み出して旅に出かけよう！
小高い山の上に青い空
ゴーゴーと飛行機が飛んで行く。
そして少し青いくもり空へと消えていった。

しばらくして又それよりも低く音高く
ゴーゴーと旅客機の響きだけが
聞こえてきたある日の昼前時
畑では他の木と植えかえられたオリーブの木の葉が語りかける。
家ではこじんまりとした納屋の南側
南天の木の葉が黄色く赤く歌をかなでてくる。
軒を越えるともうバス通りだった。
それは旅に出かける側の季節だった。



小西路

会員の唄



唐渡 義一作

令和五寒咲きの
九十八才
枯老翁
唐渡
白寿の色は
紅梅と黄水仙
長生きの邨徳美
コロナのワクチン
白マスク

木目込み人形

樋口 文子

私は今年米寿を迎えました。二十年程前から趣味で「木目込み人形」作りをしています。

材料は色々なお店や通販等で揃え、干支やお雛様などを作って子供達にプレゼントしてきました。これからも頭や手指の体操として続けたいと思っています。



編集後記

コロナ感染拡大が少し治まりを見せる中で、このところの暖かさは、春の到来を告げるようで、会話する言葉の端々にも明るさが響いてきます。皆様のそばに春は訪れていますでしょうか。

年齢と共に腰痛、膝痛、肩こり等身体の痛みが表面化し、受診すると、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症などと診断され、シップを貼り、数か月にわたり治療、物療、整体等に通い、しかし痛みが軽減された、楽になったという声はあまり聞かえてきません。その人その人のそれぞれの痛みは違っていても、老化現象だというひとくくりに、納得しています。

いたみの原因の中に、自分の思っている事と自分のとる行動との食い違いから出てくるものがあるとラジオから聞きました。自分の感情にふたをして、周りと同調している心の叫びが、痛みとなって出てくるという事なのでしょうか。

今年の目標を「機嫌よく生活する」と心に決め3か月が過ぎようとしています。腰痛は続いています。ややこしいことを聞きかじってしまいました。腰痛はしんどいです。本格的な春の訪れが待たれます。

クイズの答え

か る た
び ー だ ま
す こ ろ く
た こ あ け
お は じ き
け ん だ ま
た け う ま
は ね つ き
こ ま ま わ し
か み ふ う せ ん